

令和7年(2025年)3月20日

星が丘図書館(仮称)

意見ヒアリング



東山遊園2024/9プレスリリースのイメージ図より

第1部 経緯と概要

① 経緯

— 動植物園正門前計画～AL構想策定前 —

(平成19年(2007年))

(平成28年(2016年))

千種図書館

開館 昭和43年(1968年) 今年で築57年

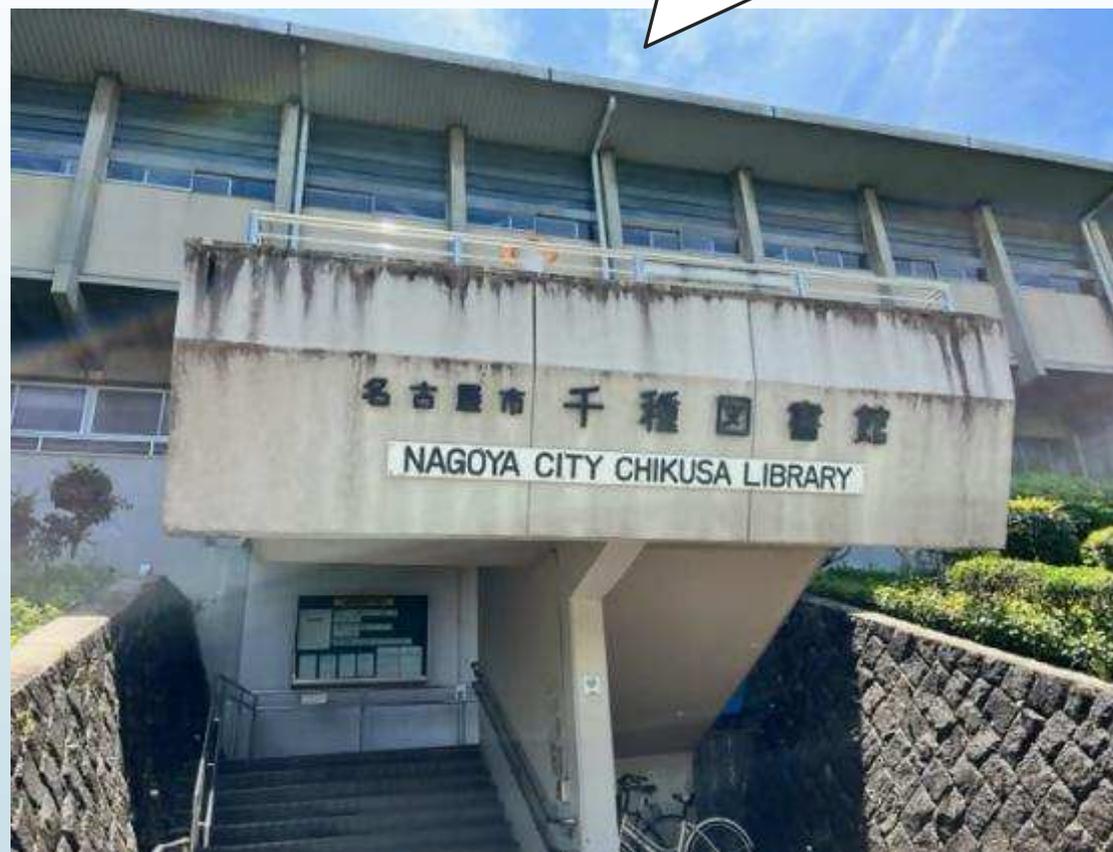
エレベーターがない
駐車場も少ない

延床面積 1,107m²

蔵書数 約9万冊

入館者数 150,814人※
(令和5年度)

貸出冊数 316,227点※
(令和5年度)



※令和5年度(2023年度)は耐震改修に伴い9月7日まで部分開館

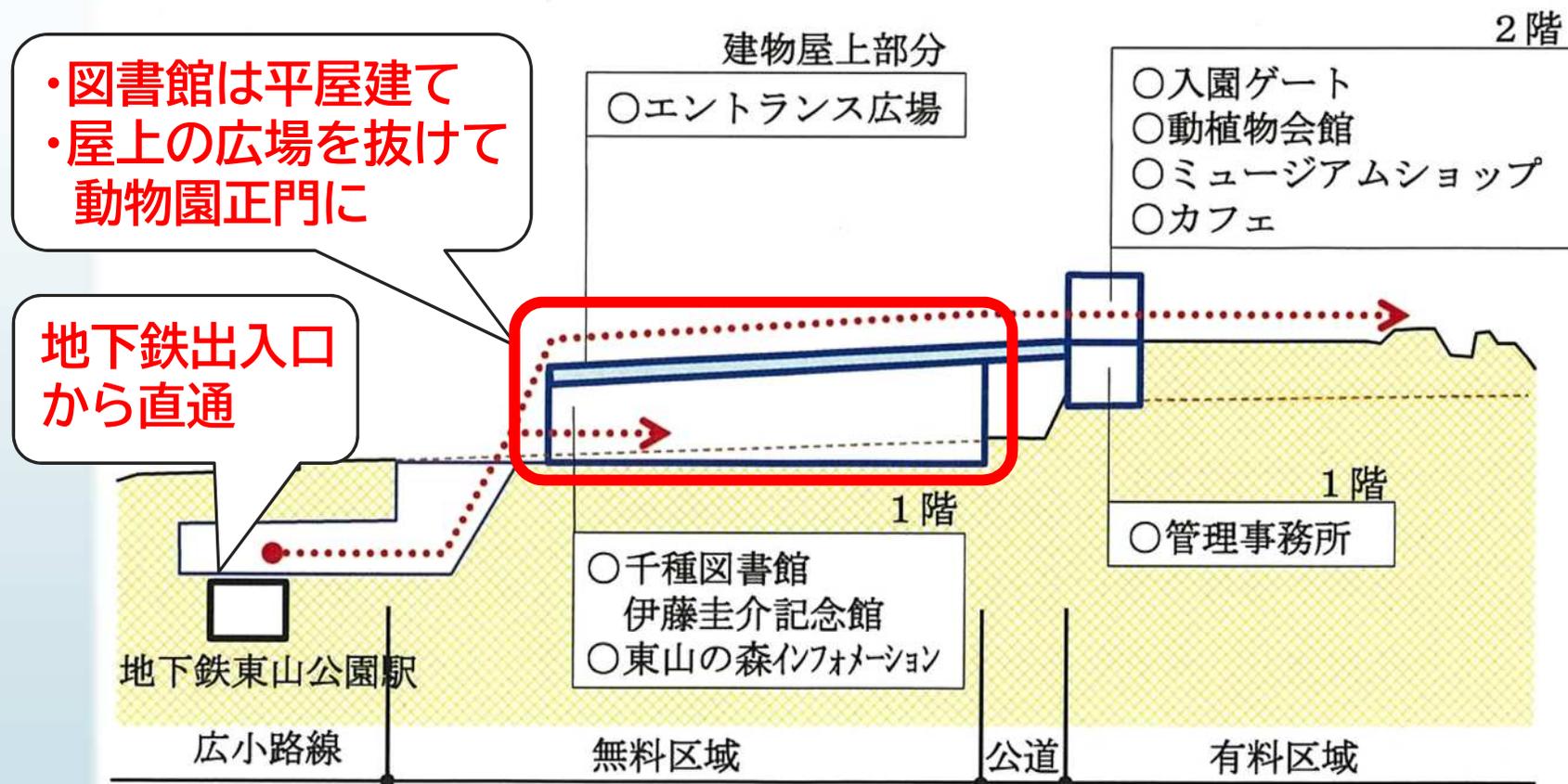
移転改築を巡る経緯

平成19年(2007年)
東山動植物園再生プラン案を公表

千種図書館を
動植物園と一体で正門前に整備



動植物園正門前整備(断面図)



平成19年(2007年)12月6日 教育子ども委員会資料より抜粋

動植物園正門前整備(鳥瞰図)



東山動植物園再生プランの撤回

平成21年(2009年)

河村前市長 再生プラン撤回を明言

権利上の都合により
お見せできません

⇒図書館と

動植物園正門の

一体整備は取りやめ

図書館単独での移転改築に向けて

平成22年(2010年)

東山動植物園再生プラン新基本計画公表

- ▶ 開園当初からある正門の門柱や噴水を、
正門エントランスゾーンにて保全活用



以降、図書館単独での正門前への移転改築など、
さまざまな案を検討したものの、具体化には至らず

図書館を巡る状況の変化

- 各区・各支所に均質・均一の図書館を整備
→利用者は市民の2割に満たず、来館者数は横ばい
- 
- 便利で快適な図書館にしたいものの…
→人口減少、厳しい財政状況、保有資産の適正化
→全ての図書館を均等に整備することは困難
- 

**さらなる市民サービスの向上を追求しながら、
効果的・効率的な図書館運営を行うことが必要**

第1部 経緯と概要

② 経緯

— AL構想策定～現在 —

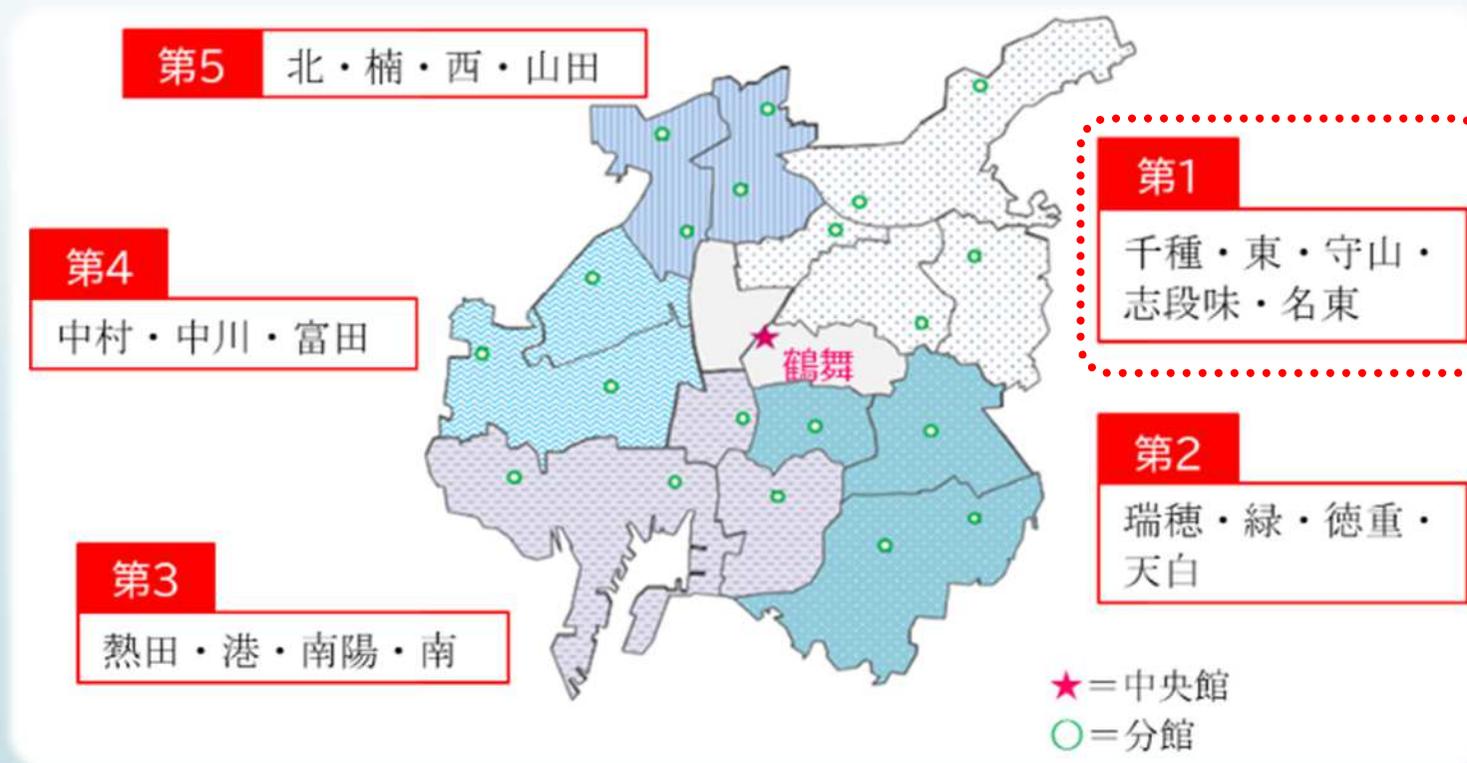
(平成29年(2017年))

図書館整備の考え方（整備の単位）

平成29年(2017年)

なごやアクティブ・ライブラリー構想の策定

- 市域を5つのブロックに分け、ブロック内で施設の再配置



- 整備は、建築年次の古い施設が多い第1ブロックを優先

図書館整備の考え方（図書館のタイプ）

- ▶ 機能・特徴の異なる図書館をブロック内に配置

図書館のタイプ	特徴	備考※
アクティブ ライブラリー(AL)	ブロックの中核館 専門的サービス機能を強化	2,000㎡程度 直営
コミュニティ ライブラリー(CL)	気軽に来館でき、ゆったり滞在 できる身近な図書館	700㎡程度 民間活用
スマート ライブラリー(SL)	便利な場所で本の貸出返却が できる図書館	300㎡程度 民間活用

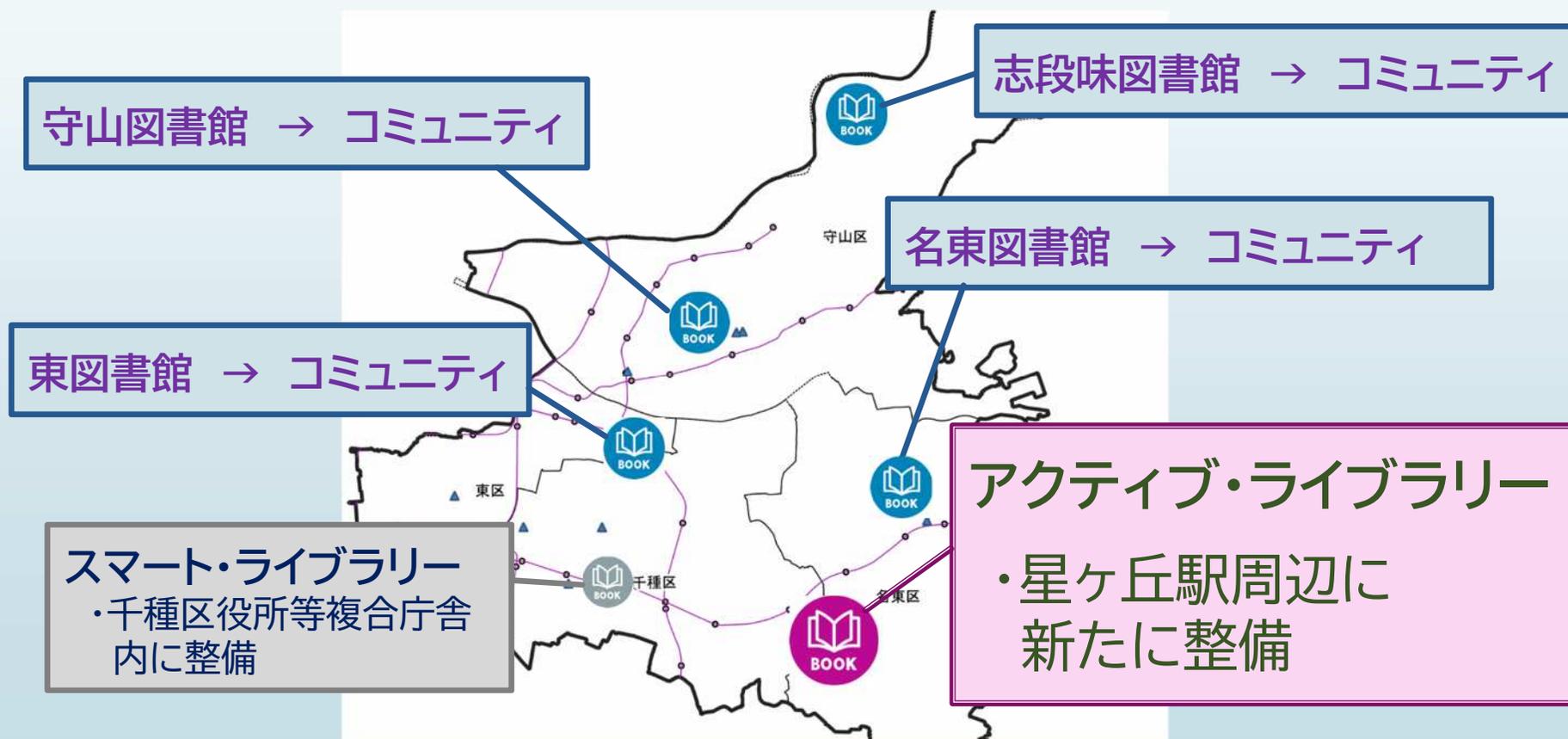
※区分館1,100㎡以上、支所館800㎡以上

第1ブロックの図書館整備

令和3年(2021年)

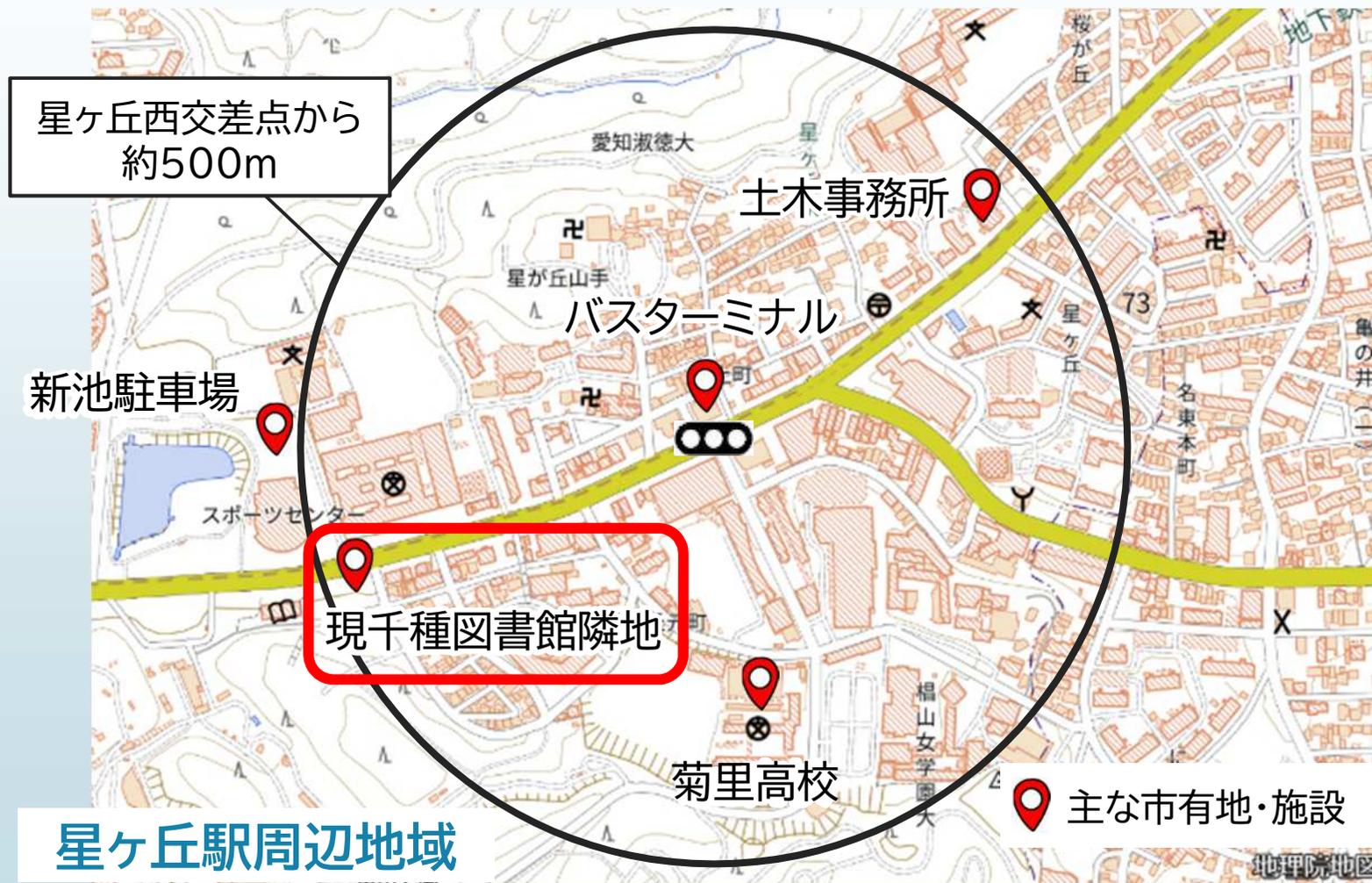
第1ブロック施設整備方針の策定

- 第1ブロック:千種区・東区・守山区・名東区



AL整備場所の調査・検討 ①

令和5年(2023年)11月～翌年3月
星ヶ丘駅周辺の市有地・市有施設の調査



AL整備場所の調査・検討 ②

令和5年(2023年)12月

東山遊園(株)(星が丘テラスの地権者)からの提案

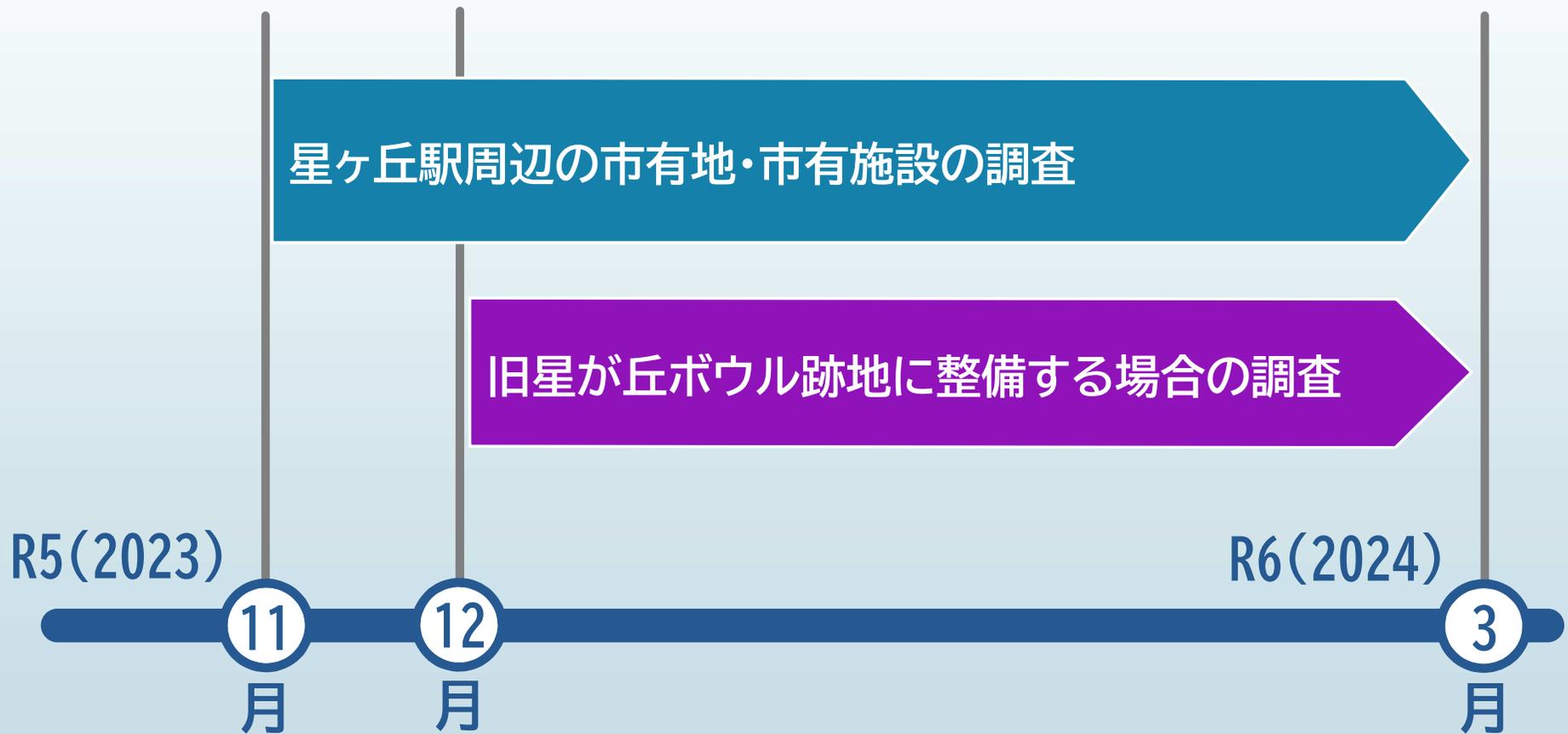
- ▶ 星が丘ボウルが営業終了し、再開発が本格化する中、跡地に建設する商業棟に図書館を開設することは可能
- ▶ 開設にあたっては、市有地に整備する場合と同様の条件※にすることも考えられる

※ 市は図書館部分の建設費と維持費の実費相当を負担し、地代は不要

⇒・旧星が丘ボウル跡地に整備する場合の条件などを聴取・確認しながら、実現可能性等を調査・検討

AL整備場所の調査・検討 ③

市有地・市有施設の調査と並行して
旧星が丘ボウル跡地についても調査



AL整備場所の比較・検討（令和5(2023)年度末）

現千種図書館隣地 と旧星が丘ボウル跡地 とを比較検討



隣地とボウル跡地との比較・検討

比較検討の視点

意義や役割

- これからの名古屋市図書館としてふさわしいか
(多くの人が利用しやすいか・連携や交流ができるか等)

物理的な条件

- 立地・アクセス
- 開館時期
- 整備の制約等
- コスト



県内の新しい図書館(例)

豊橋市まちなか図書館



安城市図書情報館



比較・検討 ①

立地・アクセス

現千種図書館隣地

- ・公園内(第1種風致地区)
- ・土砂災害警戒区域に隣接
- ・星ヶ丘駅、東山公園駅から約500m
- ・専用駐車場を整備できる

旧星が丘ボウル跡地

- ・星ヶ丘駅から約150m
- ・星が丘テラス駐車場が利用できる

比較・検討 ②

開館時期

現千種図書館隣地

令和12～14年
(2030～2032年)

旧星が丘ボウル跡地

令和10年(2028年)

比較・検討 ③

整備の制約等

現千種図書館隣地

- ・設計・内装の自由度が高い
- ・建ぺい率、擁壁の設置等の制約がある

旧星が丘ボウル跡地

- ・新設予定の広場や、隣接する大学の共用が見込まれる

比較・検討 ④

コスト

現千種図書館隣地

- ・造成、外構、擁壁等の工事費が必要
- ・維持費は他の公共施設程度

旧星が丘ボウル跡地

- ・建設費は一棟建設に比べて安価
- ・維持費が公共施設に比べて高い

比較・検討 ⑤

利用・連携

現千種図書館隣地

- ・駅から一定の距離があり、公園用地内のため、利用の広がりは限定的か
- ・近接施設：公園、高校など

旧星が丘ボウル跡地

- ・利便性が高くにぎわいがあり、多くの来館が期待できる
- ・近隣施設：商業、大学・高校、公園など

令和6年度(2024年度)の進め方

市民・利用者	地域	有識者	(その他)
<ul style="list-style-type: none"> ・市政アンケート ・第1ブロック住民アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・千種区区政協力委員協議会で説明(3回) ・第1ブロック4区の区政議長との意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会(3回) 	AL整備基礎調査 ボウル跡地に開設する場合の <ul style="list-style-type: none"> ・平面レイアウトの作成 ・概算経費の算出 など
12月27日 市会常任委員会(所管事務調査)			

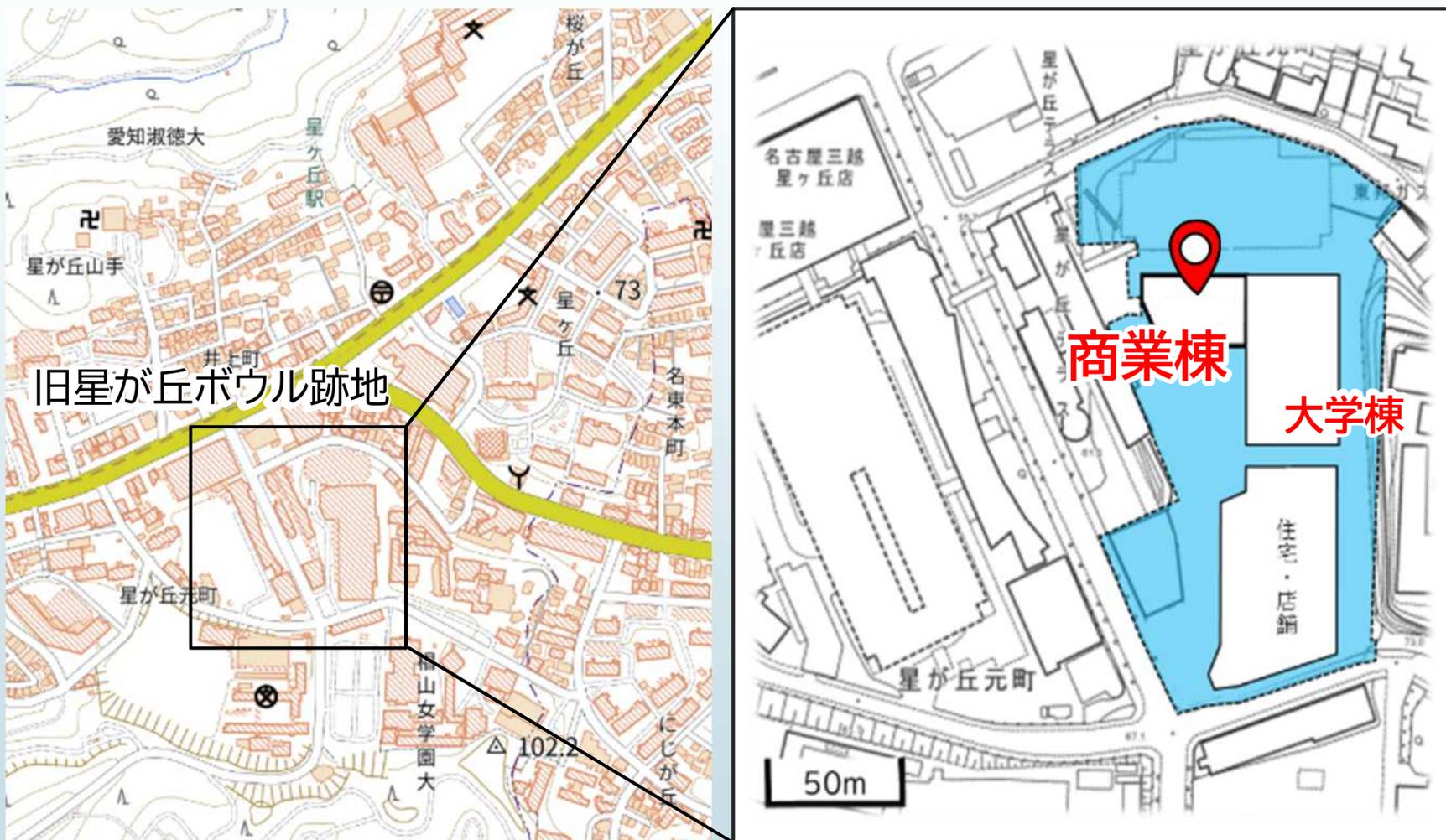
令和7年度予算案に星が丘図書館関連予算を計上

第1部 経緯と概要

③ 星が丘図書館(仮称)の 施設概要

整備場所

- ▶ 旧星が丘ボウル跡地に建設される商業棟（6階建）内



施設概要

▶ フロア構成

1、2階 書店

3、4階 図書館

5、6階 地権者使用(事務所等)

▶ 1,800㎡程度

(900㎡×2フロア)

※ 千種図書館1,107㎡



東山遊園2024/9プレスリリースのイメージ図より

フロアのイメージ(3階)

【気軽に楽しめるフロア】

- ・ 興味がわき、何気なく立ち寄りたくなる
- ・ 会話や飲食ができ、周囲に気兼ねなく過ごせる



フロアのイメージ(4階)

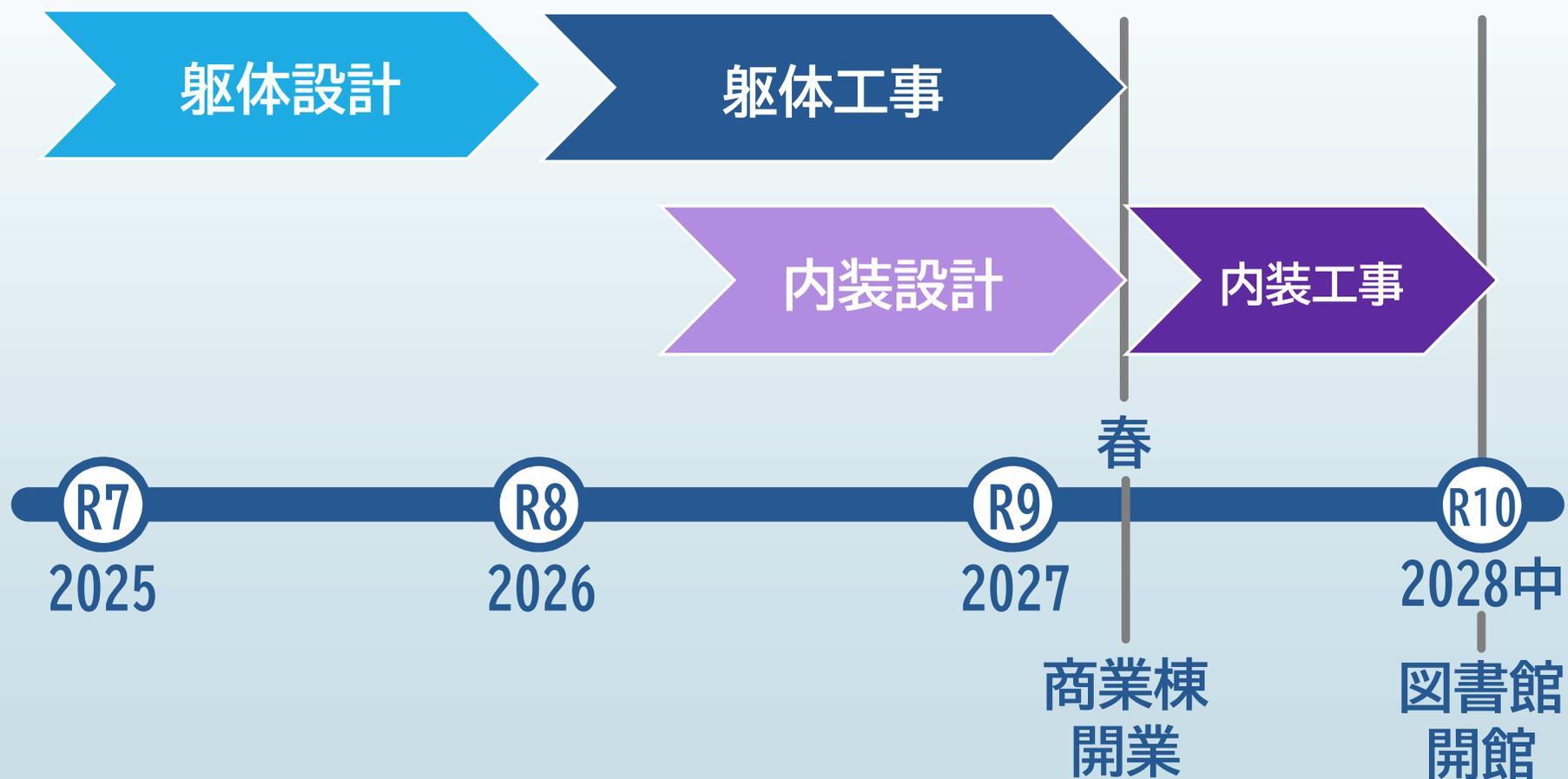
【落ち着いて過ごせるフロア】

- ・時間を忘れて本や読書の楽しさを味わえる
- ・役に立つ知識や情報を得て、疑問や課題を解決できる



スケジュール

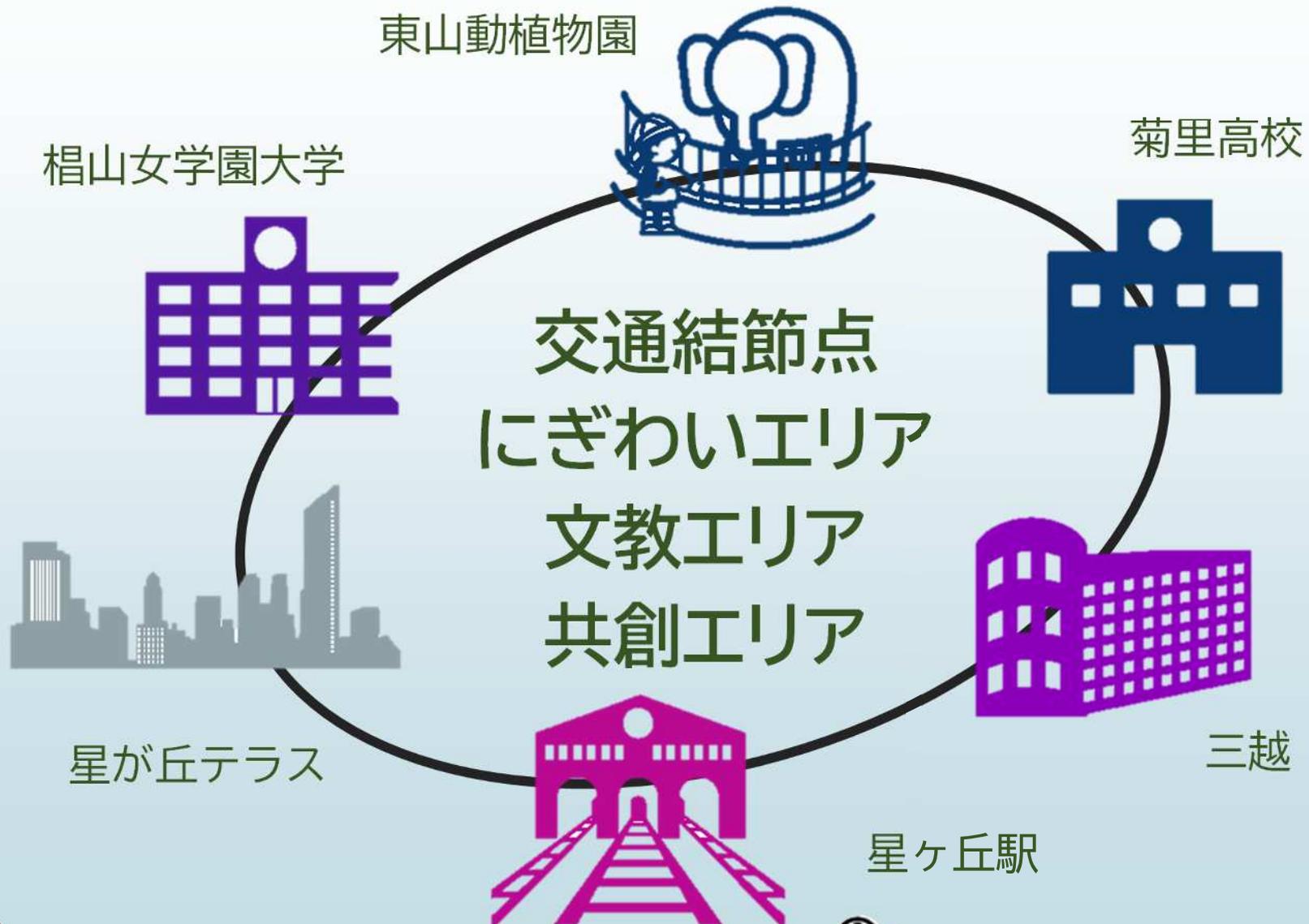
▶ 開館は令和10年度(2028年度)予定



第 2 部

星が丘図書館での取組み

星が丘エリアの特色



星が丘図書館のコンセプト

多くの人に来てもらう図書館

- ・これまでの利用者も、そうでない人も。
- ・図書館利用のすそ野を広げる！

連携・協働・交流する図書館

- ・図書館と市民、近隣主体などとのかかわりを通じて、疑問や課題の解決、新たな気づきにつなげる。

多くの人に来てもらう図書館(イメージ)

① 便利で、気軽に行きたくなる！ (1/2)

開館日の増加

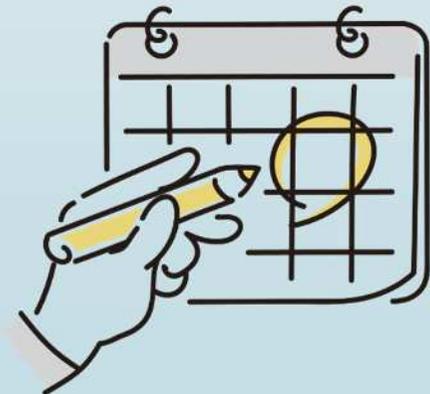
月曜日も利用できる

開館時間の延長

仕事帰りなどに立ち寄りやすく

現在の千種図書館は

- ・毎週月曜日、毎月第3金曜日に休館
- ・平日は9時30分～19時、日祝は9時30分～17時



多くの人に来てもらう図書館(イメージ)

① 便利で、気軽に行きたくなる！ (2/2)

セルフで手続き

並ばずスムーズに利用できる



自分で手軽に
貸出・返却

予約本も自分で受取
プライバシーに配慮



多くの人に来てもらう図書館(イメージ)

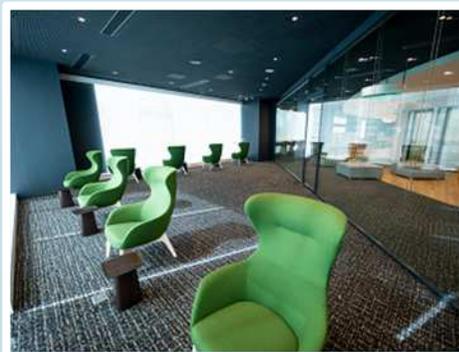
② いろんな過ごししかたができる！ (1/2)

一人で

集中して読書や勉強ができる席

仲間と

グループ学習できる席



多くの人に来てもらう図書館(イメージ)

② いろいろな過ごし方ができる！ (2/2)

リラックスして

会話や飲食OK

子ども・親子が

周囲に気兼ねなくくつろげる



子どもだけ
でも安心



多くの人に来てもらう図書館(イメージ)

③ 本と出会いやすく、 本以外の情報にも出会える！ (1/3)

わかりやすい配架

知りたい情報を探しやすく

レファレンスの充実

司書が調べものをサポート

本以外の情報も

講座やイベント、データベース

がん情報コーナー



本を見つけやすいよう
コーナーづくりや
並べ方を工夫

本を読むだけでは
得られない情報も提供



健康づくり教室

多くの人に来てもらう図書館(イメージ)

③ 本と出合いやすく、 本以外の情報にも出会える！ (2/3)

図書館ならではの展示

興味・関心の幅が広がる

新刊等の常時配架

旬な本を待たずに手に取れる



・司書だけでなく、テナントや
利用者のおすすめ本も！



多くの人に来てもらう図書館(イメージ)

③ 本と出会いやすく、 本以外の情報にも出会える！ (3/3)

蔵書の構成



連携・協働・交流する図書館(イメージ)

① 商業施設 × 図書館 (1/2)

共用部分の活用

広場で読み聞かせなど

店舗との連携

テナントの店員が講師に



芝生広場やオープンデッキを共用



店員などの
専門知識を
生かした講座

書店とも
連携！



連携・協働・交流する図書館(イメージ)

① 商業施設 × 図書館 (2/2)

お店と コラボ展示	お店に関連するテーマの展示 (コーヒー、自転車、衣料…)
お店に図書	飲食店などに図書館の本を置いたり
選書への助言	その道のプロが本選びをアドバイス

コラボ展示



お店で図書館の
本に出会える



プロのアドバイスを生かして的確な本を選ぶ

連携・協働・交流する図書館(イメージ)

② 大学 × 図書館 (1/2)

大学施設の活用

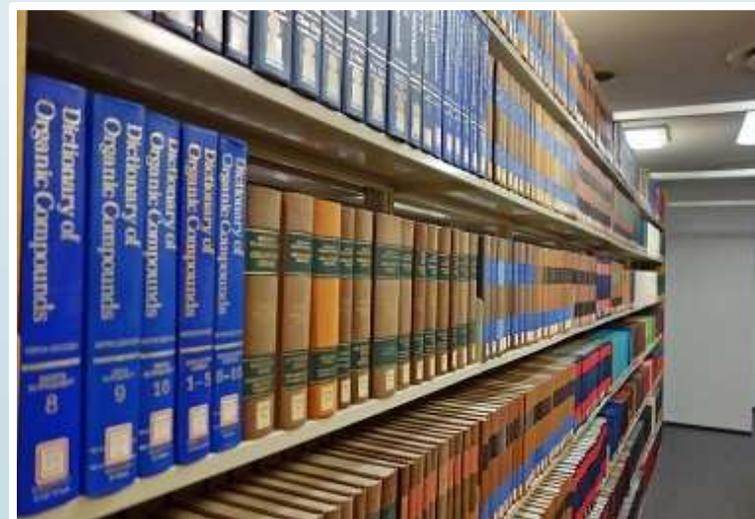
セミナー室で講座など

蔵書の相互利用

大学の本も利用できるように



公共図書館にはないような
学術書なども利用できるように



連携・協働・交流する図書館(イメージ)

② 大学 × 図書館 (2/2)

先生と

大学ならではの講座やプログラム

大学生と

大学生がおはなし会



大学の先生による
役に立つ講座



大学生が
読み聞かせ

大学生のおすすめ本



連携・協働・交流する図書館(イメージ)

③ 高校 × 図書館 (1/2)

高校生が情報発信 展示、ティーンズ向け広報紙など

高校生ならではのセンスを生かして、職員にはできない展示や広報を

→ 高校生が利用したくなる図書館に



連携・協働・交流する図書館(イメージ)

③ 高校 × 図書館 (2/2)

活動成果の発表

部活の作品の展示、演奏など

学校への協力

図書館で職場体験



図書館で
ミニコンサート



ビブリオバトルを
共催



文化部の作品展示

連携・協働・交流する図書館(イメージ)

④ その他の連携

学校図書館 : 学校図書館の運営を応援

東山動植物園 : 連携講座やイベントを開催



学校図書館の運営支援、
学校司書のサポートなどを実施

動植物園でのおはなし会、
伊藤圭介に関する講座など



連携・協働・交流する図書館(イメージ)

⑤ 市民・地域 × 図書館

人と人

人と人が図書館でつながる

地域と図書館

図書館が地域に出向く

ボランティア活動をサポート
→ 仲間の輪が広がる



自動車図書館が
あなたのまちにも来ます



図書館やまちのありかたを
ともに考える

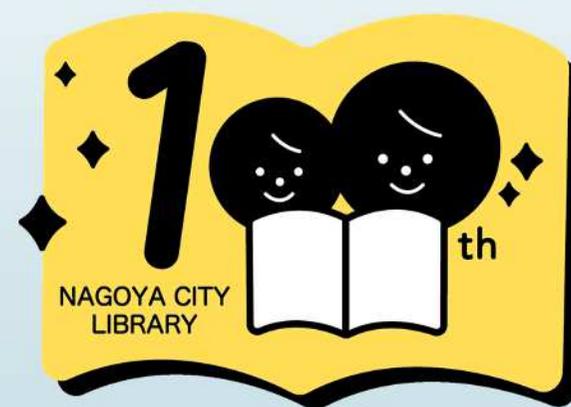
これからの100年に向けた 新しい名古屋の図書館を

【お問い合わせ先】

鶴舞中央図書館 図書館改革担当

電話：052-741-3133 FAX：052-733-6337

Eメール：a7413133@kyoiku.city.nagoya.lg.jp



いっしょにページをめくろう！
名古屋市図書館100周年